

4.3.2 使用環境設定

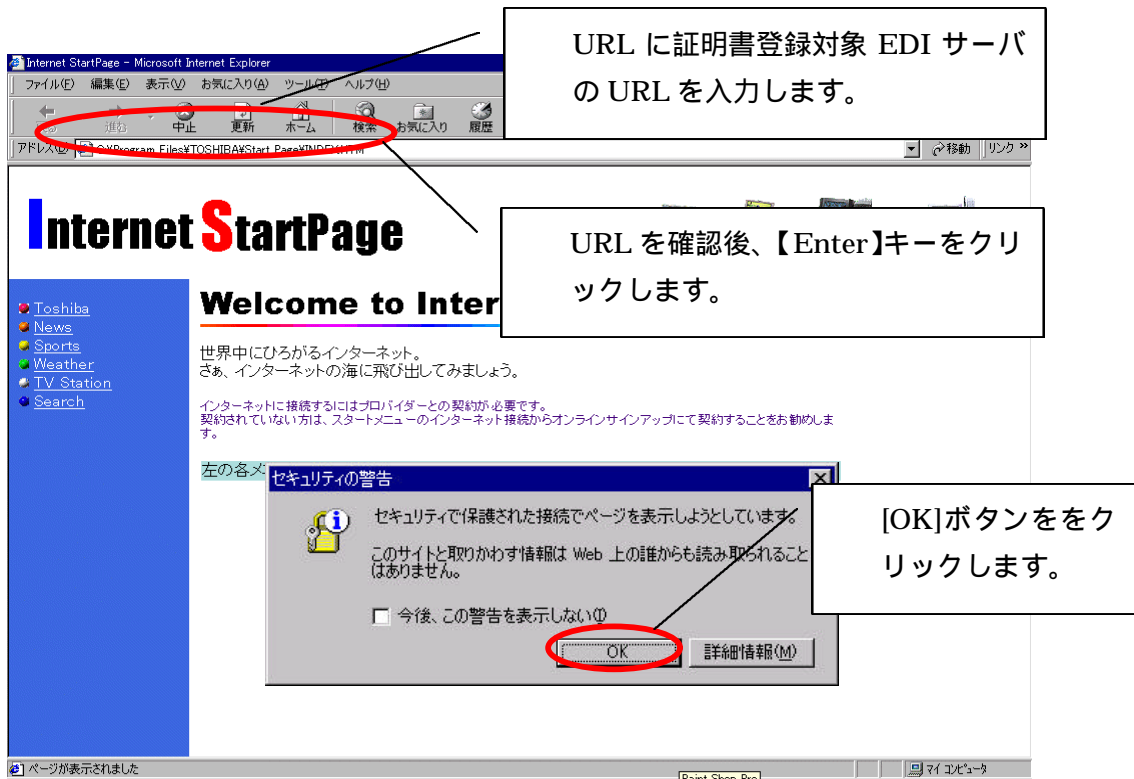
ここでは、受注側クライアント機能のインストール後に実施する各種設定について説明します。

また、リソースファイル（XSL ファイルや EXCEL 帳票テンプレートファイル等）が更新された場合や障害復旧のために、ファイルを登録する方法についても説明します。

- ・サーバ証明書の登録と削除の手順 (1)参照
- ・帳票テンプレートの確認手順 (2)参照
- ・受注側クライアントのリソースファイルの登録手順 (3)参照
注) トランスレータ変換ルールの登録も本手順により行う。
- ・画面用リソースファイルのカスタマイズ手順 (4)参照
- ・帳票テンプレートのカスタマイズ手順 (5)参照

(A) 接続先サーバの証明書をインストールします

(a) IE を起動し、EDI サーバに接続します。



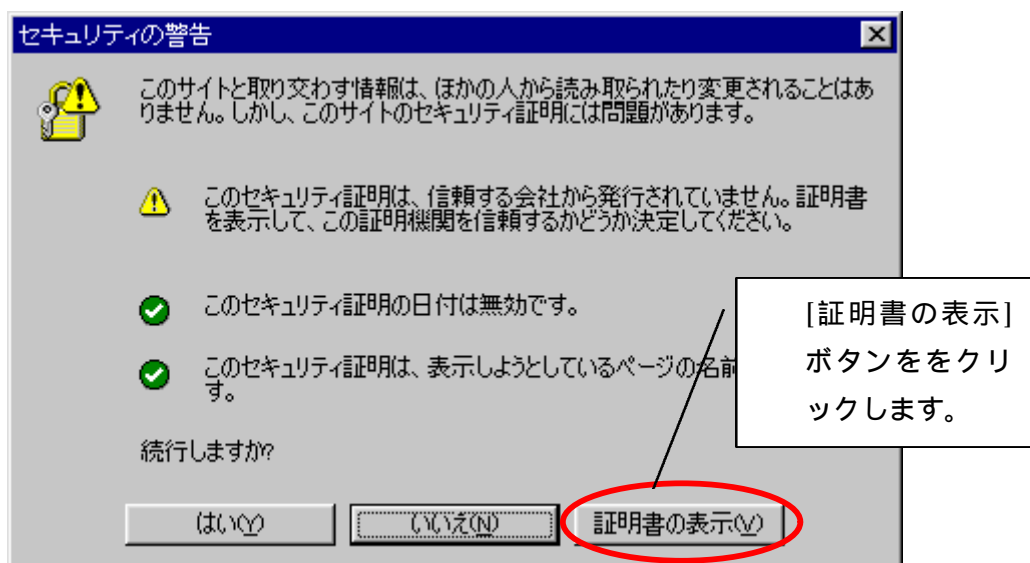
URL に証明書登録対象 EDI サーバの URL を入力します。

URL を確認後、【Enter】キーをクリックします。

【OK】ボタンをクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Internet Explorer browser window. The address bar contains a URL starting with 'http://'. A red circle highlights the address bar. Below the browser window, a security warning dialog box is displayed. The dialog box has a title bar 'セキュリティの警告' and contains the following text: 'セキュリティで保護された接続でページを表示しようとしています。このサイトと取りかわす情報は Web 上の誰からも読み取られることはありません。' There is a checkbox '今後、この警告を表示しない' and two buttons: 'OK' and '詳細情報(M)'. A red circle highlights the 'OK' button.

(b) 「セキュリティの警告画面」が表示されます。

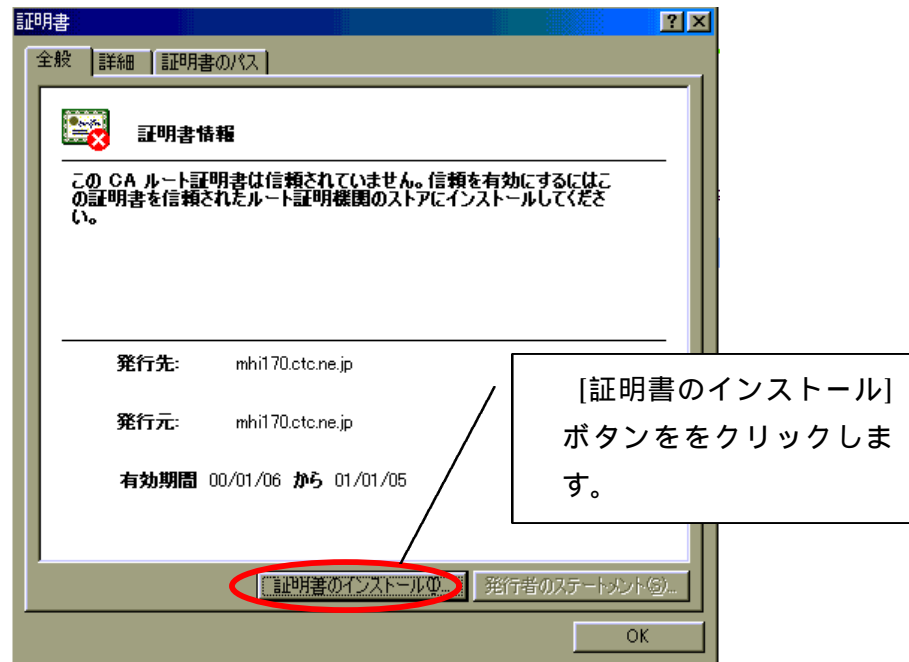


「セキュリティの警告」画面が表示されます。

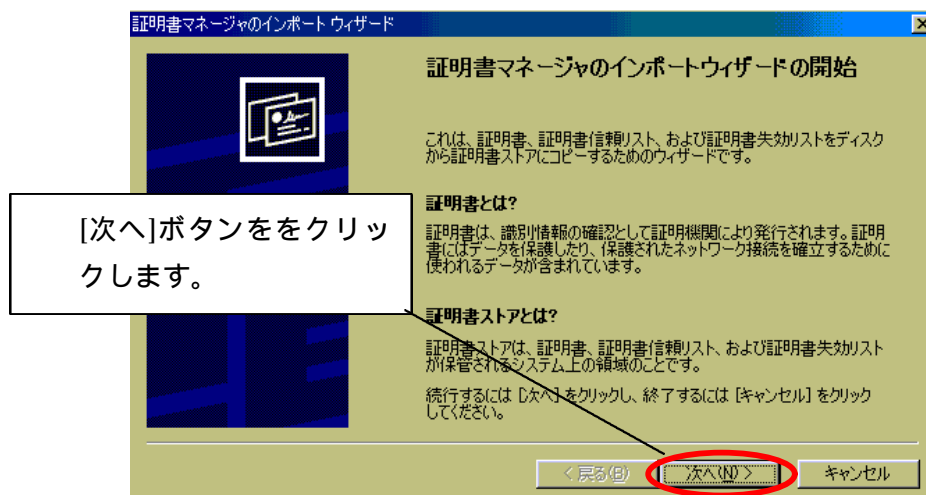
[証明書の表示] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'セキュリティの警告' dialog box. The text inside reads: 'このサイトと取りかわす情報は、ほかの人から読み取られたり変更されることはありません。しかし、このサイトのセキュリティ証明には問題があります。' Below this, there are three items with icons: a yellow warning triangle, a green checkmark, and another green checkmark. The text for these items is: 'このセキュリティ証明は、信頼する会社から発行されていません。証明書を表示して、この証明機関を信頼するかどうか決定してください。', 'このセキュリティ証明の日付は無効です。', and 'このセキュリティ証明は、表示しようとしているページの名前です。' At the bottom, there is a question '続行しますか?' and three buttons: '(はい)Y', '(いいえ)N', and '証明書の表示(O)'. A red circle highlights the '証明書の表示(O)' button.

(c) 「証明書画面」が表示されます。



(d) 「証明書マネージャのインポートウィザードの開始画面」が表示されます。



(e) 「証明書ストアの選択画面」が表示されます。

「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」が選択されていることを確認します。

証明書マネージャのインポートウィザード

証明書ストアの選択
証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

新しい証明書用の証明書ストアを選択してください。

証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

すべての証明書を次のストアに配置する(E)

証明書ストア:

[次へ]ボタンをクリックします。

<戻る(B) **次へ(N)>** キャンセル

(f) 「証明書マネージャのインポートウィザードの完了画面」が表示されます。

証明書マネージャのインポートウィザードの完了

証明書マネージャのインポートウィザードは正常に完了しました。

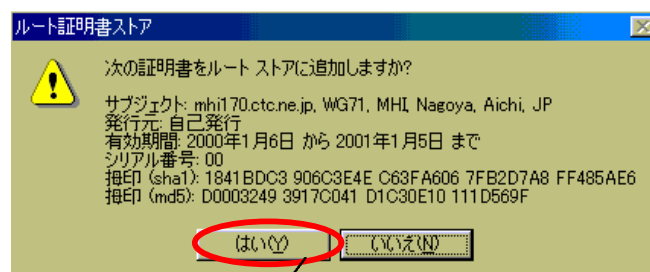
インポート操作について次の選択をしました:

ウィザードが選択した証明書ストア 内容	信頼されたルート証明機関 証明書
------------------------	---------------------

[完了]ボタンをクリックします。

<戻る(B) **完了(F)** キャンセル

(g) 「ルート証明書ストア画面」が表示されます。

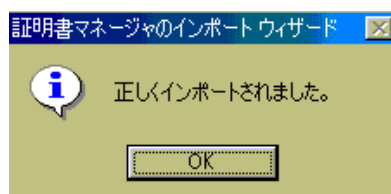


[はい]ボタンををクリック
します。

<補足説明>

以下のメッセージが表示されます。

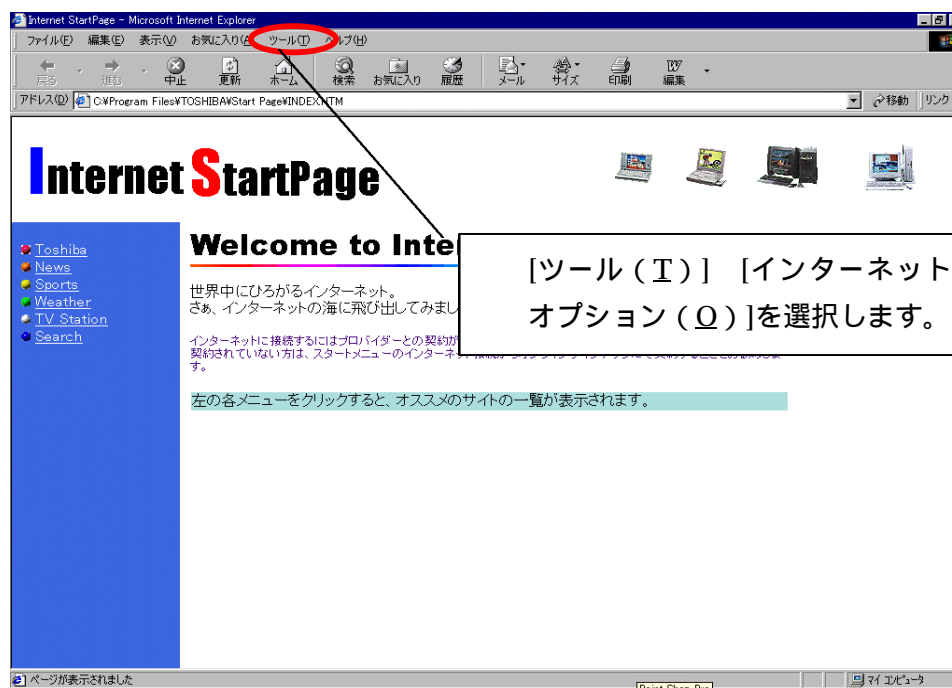
以下のメッセージが表示されたら、証明書のインストールは完了です。



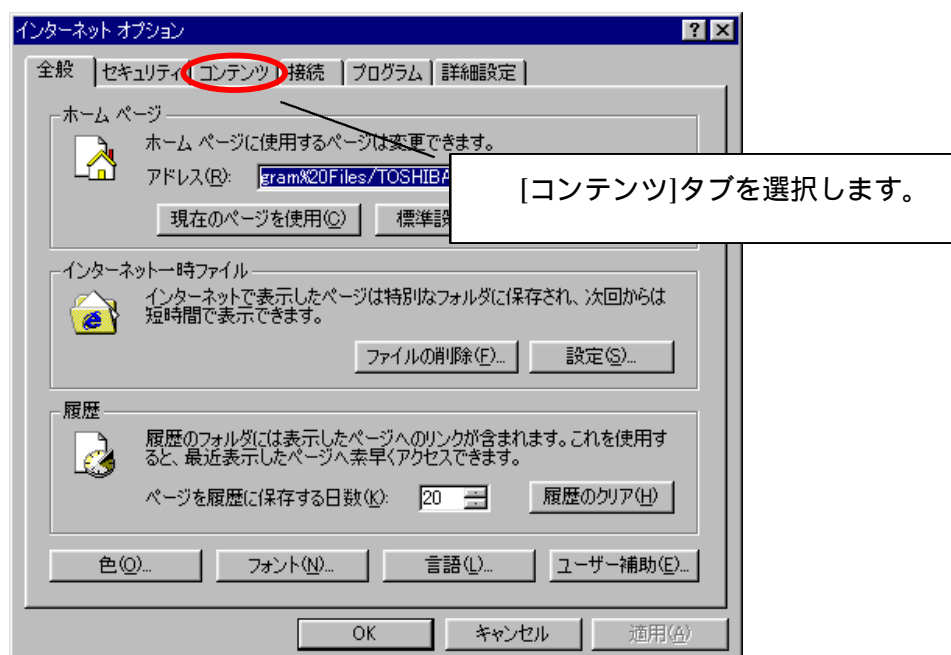
[OK]ボタンをクリックして下さい。

(B) 接続先サーバの証明書を削除します。

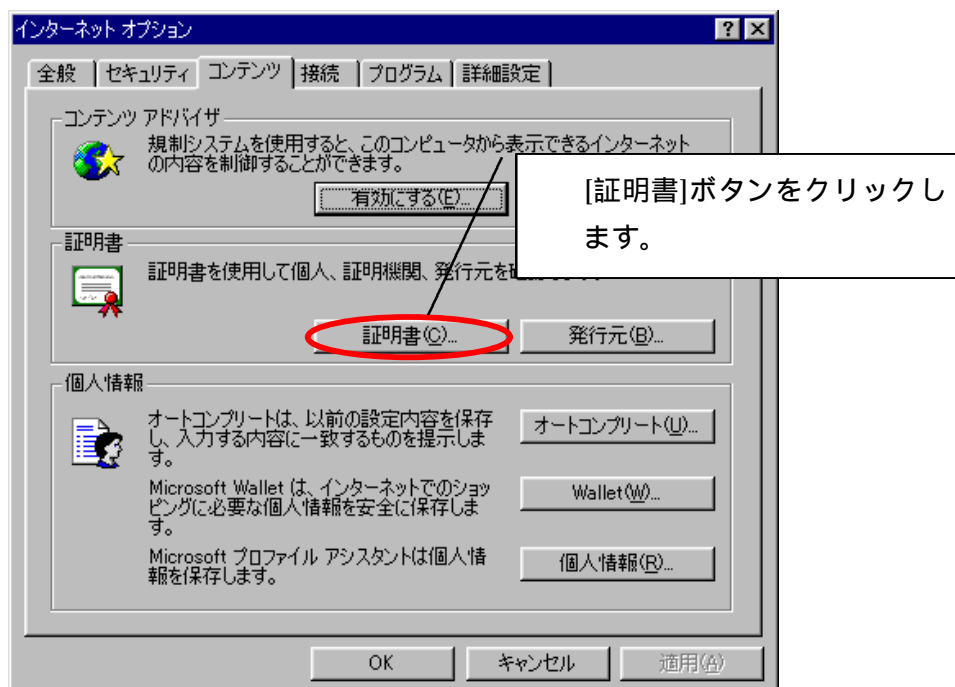
(a) IE を起動します。



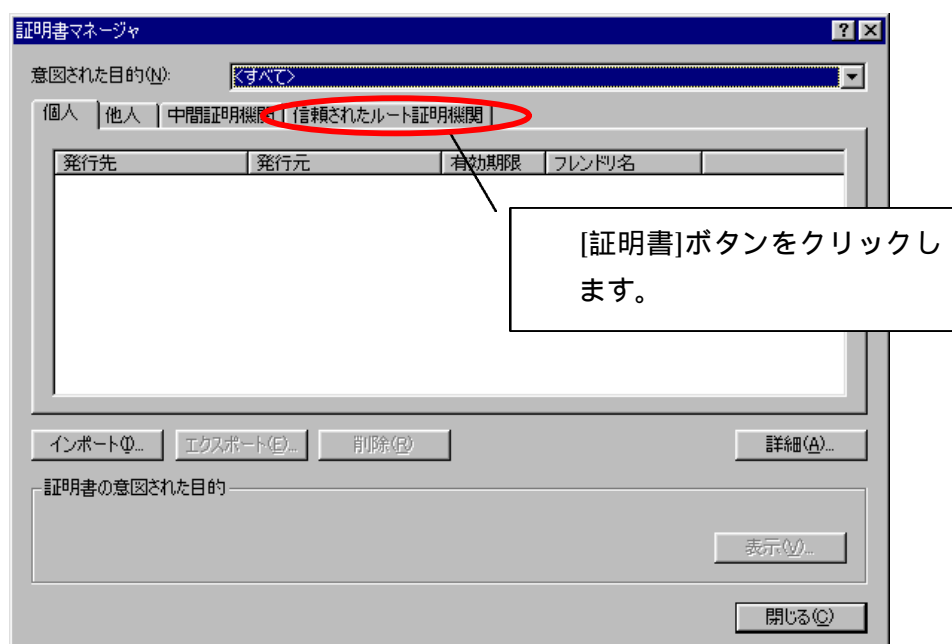
(b) 「インターネットオプション画面」を表示します。



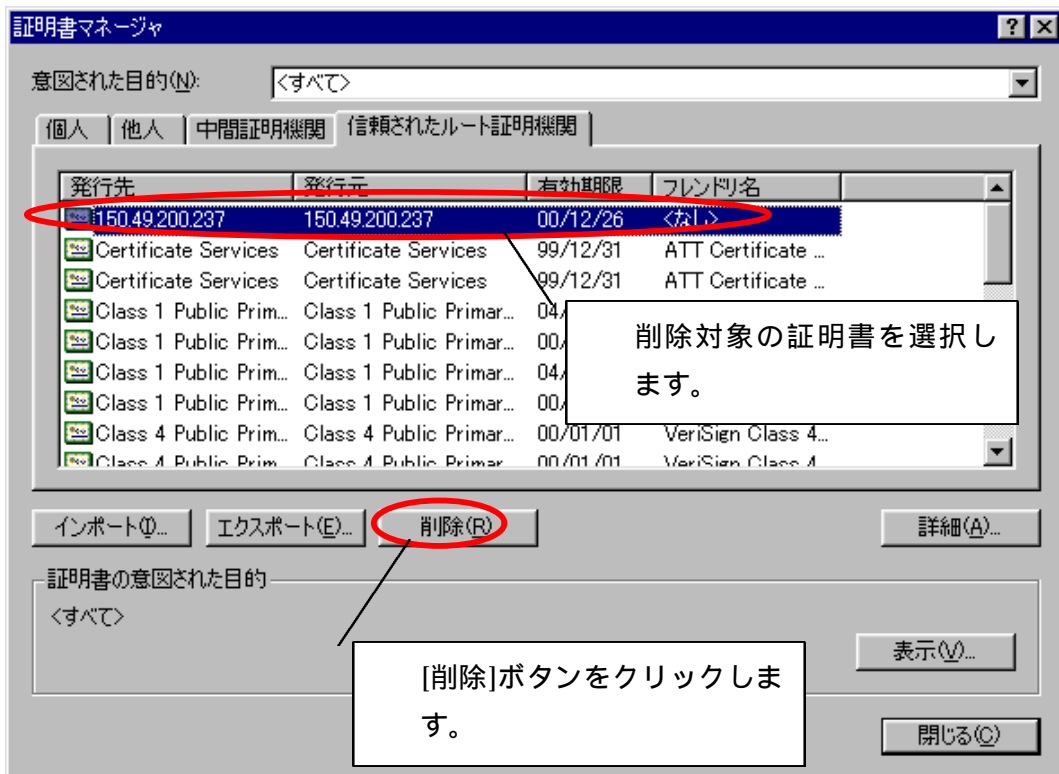
(c) 「証明書マネージャ画面」を表示します。



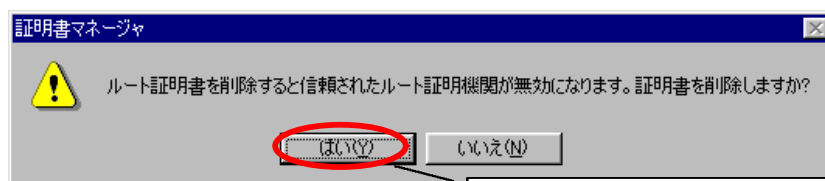
(d) 「証明書マネージャ画面」が表示されます。



(e) 削除対象の証明書を選択し、削除します。

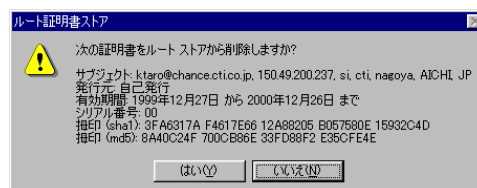


(f) 削除後に確認メッセージが表示されます。

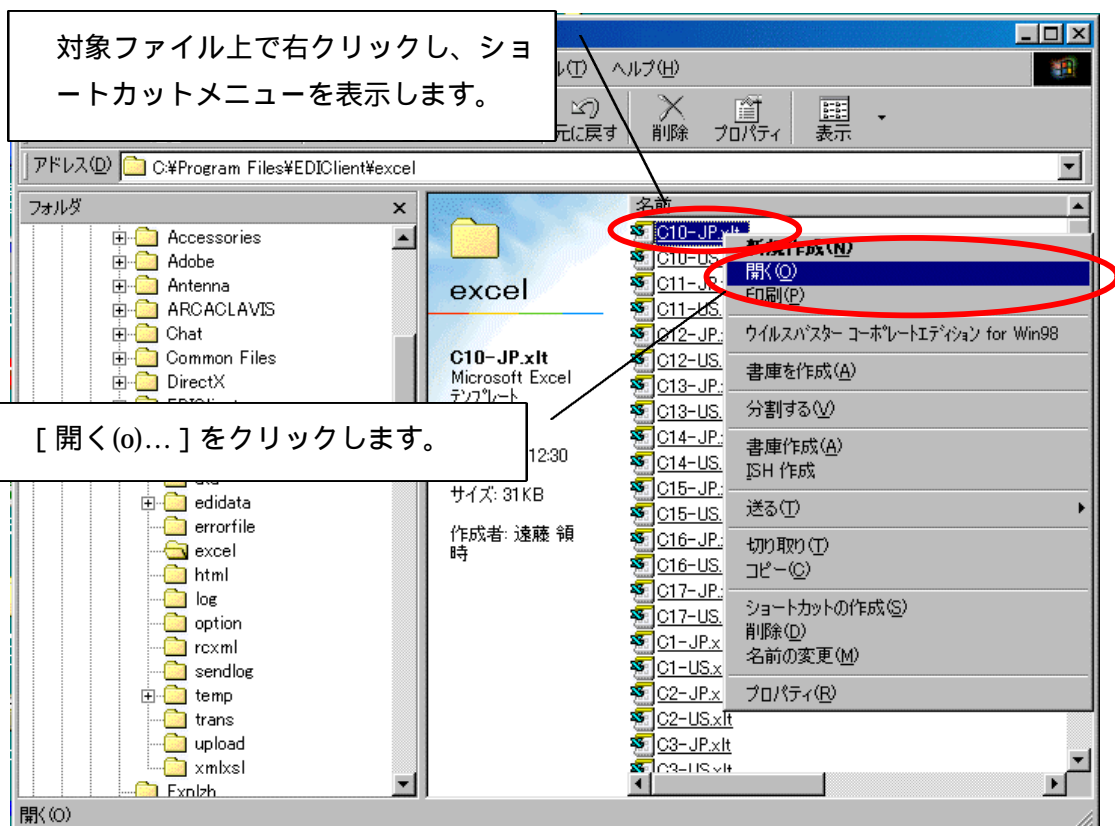


<補足説明>

以下のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックして下さい。



(C) 本システムの帳票は、全て Excel にて作成されています。印刷可能エリアが、ご使用のプリンタに依存して変化するため、帳票テンプレートのプレビューを表示してレイアウトに問題が無いかを確認します。
エクスプローラから帳票テンプレートファイルを開きます。



<補足説明>

帳票テンプレートファイルは以下のフォルダに格納されています。

\$ インストールフォルダ¥excel

\$インストールフォルダは、受注側クライアントプログラムをインストールしたフォルダを示します。

通常は、 c:\Program Files¥EDIClient です。

<補足説明>

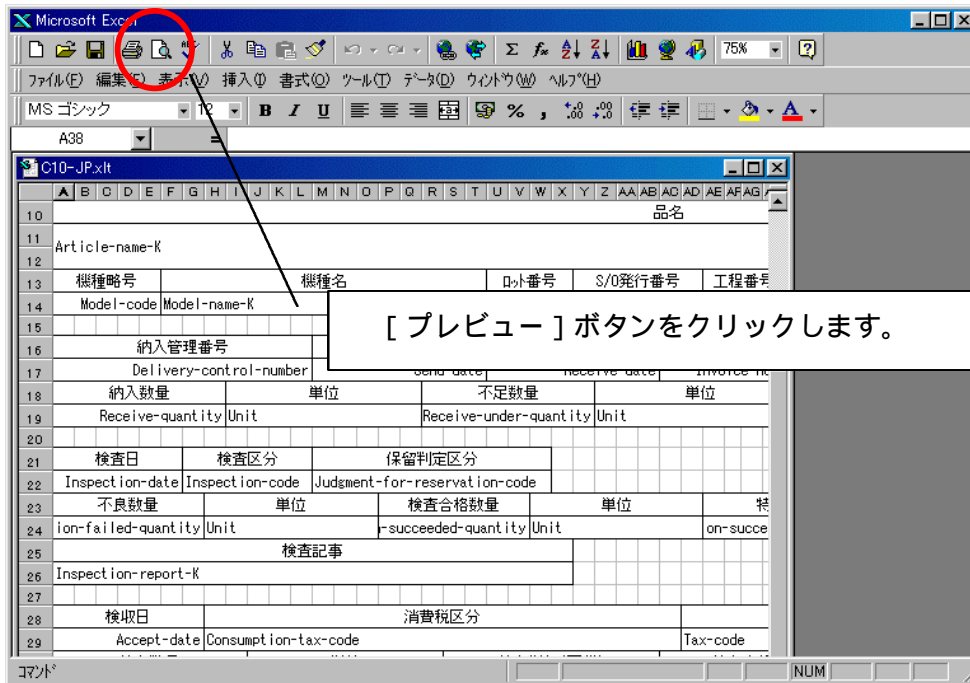
帳票テンプレートファイル名と帳票名の対応一覧を以下に示します。

帳票テンプレートファイルのレイアウト確認は、各テンプレートファイルについて実施します。

日本語		
ファイル名	帳票名	ページ数
C1-JP.xlt	見積依頼書	1
C2-JP.xlt	見積書 諸掛り	2
C3-JP.xlt	注文一覧	1
C4-JP.xlt	注文書	1
C5-JP.xlt	納期回答書	1
C6-JP.xlt	買掛金計上通知書	1
C7-JP.xlt	納品書検査表・受領書	1
C8-JP.xlt	入荷明細	1
C9-JP.xlt	検査明細	1
C10-JP.xlt	検収明細	1
C11-JP.xlt	注文残高一覧	1
C12-JP.xlt	注文残高明細	1
C13-JP.xlt	納期確認書	1
C14-JP.xlt	円貨確定依頼一覧書	1
C15-JP.xlt	円貨確定書	1
C16-JP.xlt	見積依頼一覧書	1
C17-JP.xlt	納品ラベル	1

英語		
ファイル名	帳票名	ページ数
C1-US.xlt	Request for Quotation	1
C2-US.xlt	Freight & Inland Charge	2
C3-US.xlt	Purchase Order List	1
C4-US.xlt	Purchase Order	1
C5-US.xlt	Delivery date confirmation	1
C6-US.xlt	Notice of Account payable	1
C7-US.xlt	Bill of Delivery	1
C8-US.xlt	Details Receipt	1
C9-US.xlt	Details Insp.	1
C10-US.xlt	Detail Accept	1
C11-US.xlt	order balance list	1
C12-US.xlt	order balance	1
C13-US.xlt	delivery date confirmation	1
C14-US.xlt	Request for InvoiceList	1
C15-US.xlt	Invoice	1
C16-US.xlt	Request for quotation list	1
C17-US.xlt	Label	1

(D) プレビューを表示します。

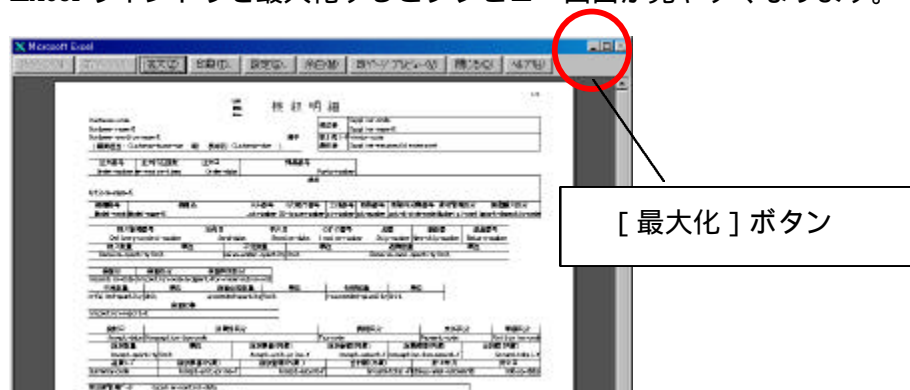


< 補足説明 >

[ファイル (F)] - [印刷プレビュー (V)] でもプレビューを表示できます。

< 補足説明 >

Excel ウィンドウが最大化されていない場合、[最大化] ボタンをクリックして Excel ウィンドウを最大化するとプレビュー画面が見やすくなります。



(E) レイアウトを確認します。

レイアウトに問題がある場合、[設定(S)...] ボタンをクリックして、[ページ設定] ダイアログを表示します。

レイアウトに問題が無い場合、[閉じる(C)] ボタンをクリックして、印刷プレビューを終了します。

注文番号	注文訂正回数	注文日	部品番号
Order-number	kr-revise-times	Order-date	Part-number
			品名
			発行番号
			工程番号
			契約番号
			契約内分割番号
			素材管理区分
			国産輸入区分
			インボイス番号
			date
			Invoice-number
			単位
			税
			成功
			-success
			税
			税額
			Receipt-amount
			通貨コード
			Receipt-unit-price-f
			Receipt-amount-f
			合計額(外貨)
			Ground-total-f
			計上年月
			Add-up-year-and-month
			計上日
			Add-up-date

< 補足説明 >

ここで、「レイアウトに問題がある」とは、本来 1 ページに表示されなければならない帳票が各プリンタに依存して変化する印刷可能エリアの影響で 2 ページに渡り表示されてしまうことを言います。

それぞれの帳票テンプレートが本来、何ページで表示されるべきかは、(A) の補足を参照してください。

(F) 必要に応じて拡大縮小率を変更します。

ページ設定

ページ 余白 ヘッダー/フッター シート

印刷の向き

縦 (P) 横 (L)

拡大縮小印刷 オプション(O)...

拡大/縮小(A) 84 %

横(F): 1 × 縦 1 ページに印刷

用紙サイズ(Z): A4

印刷品

先頭ヘ

[OK] キャンセル

[OK] ボタンをクリックして設定を印刷プレビューに反映します。

レイアウトに問題がある場合、[拡大/縮小(A)] テキストボックスの値を小さくしてレイアウトを調整します。

<補足説明>

レイアウトの調整が完了したら、印刷プレビューを終了します。
詳細は (C) を参照してください。

(G) 帳票テンプレートファイルを上書き保存します。

[ファイル(F)] - [上書き保存(S)] を選択します。

[ファイルの種類(T)]で、"テンプレート (*.xlt)" を選択します。

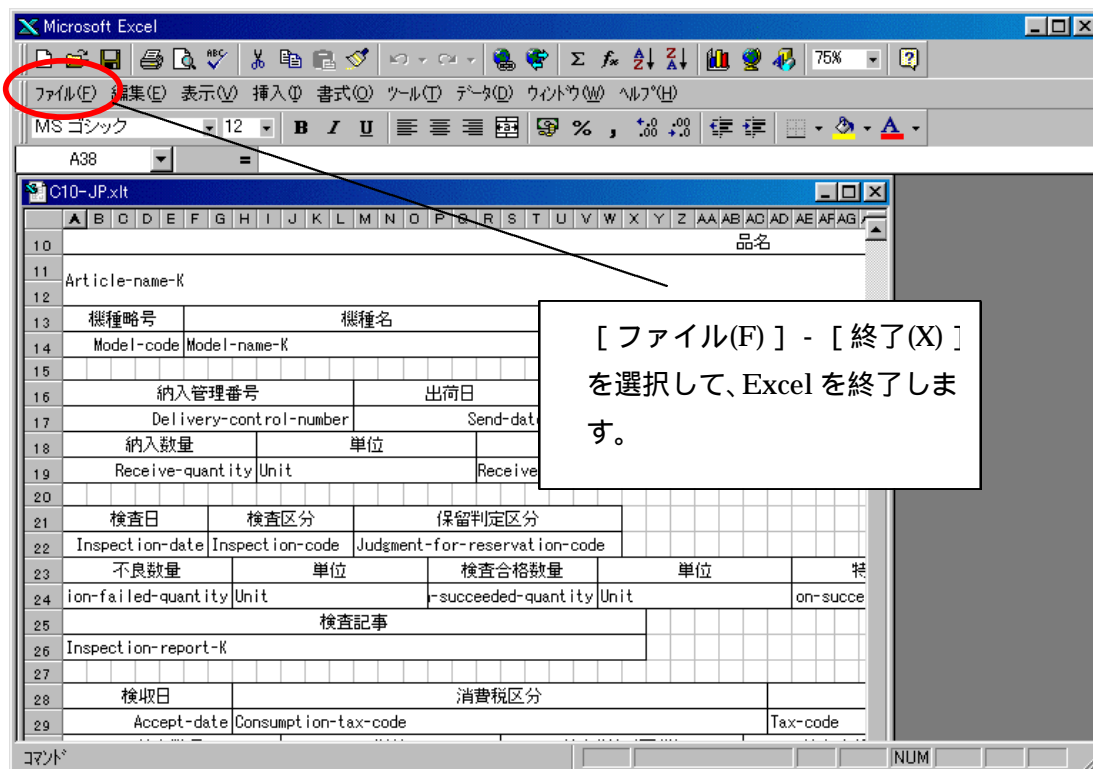
[保存先(I)]で、対象の帳票テンプレートファイルが保存されているフォルダを選択します。

[ファイル名(N)]で、対象の帳票テンプレートファイル名を指定します。

[保存(S)] ボタンをクリックします。

Model-code	Model-name-k	Lot-number
納入管理番号	出荷日	納入日
Delivery-control-number	Send-date	Rec
納入数量	単位	不足数量
Receive-quantity	Unit	Receive-under-quantity

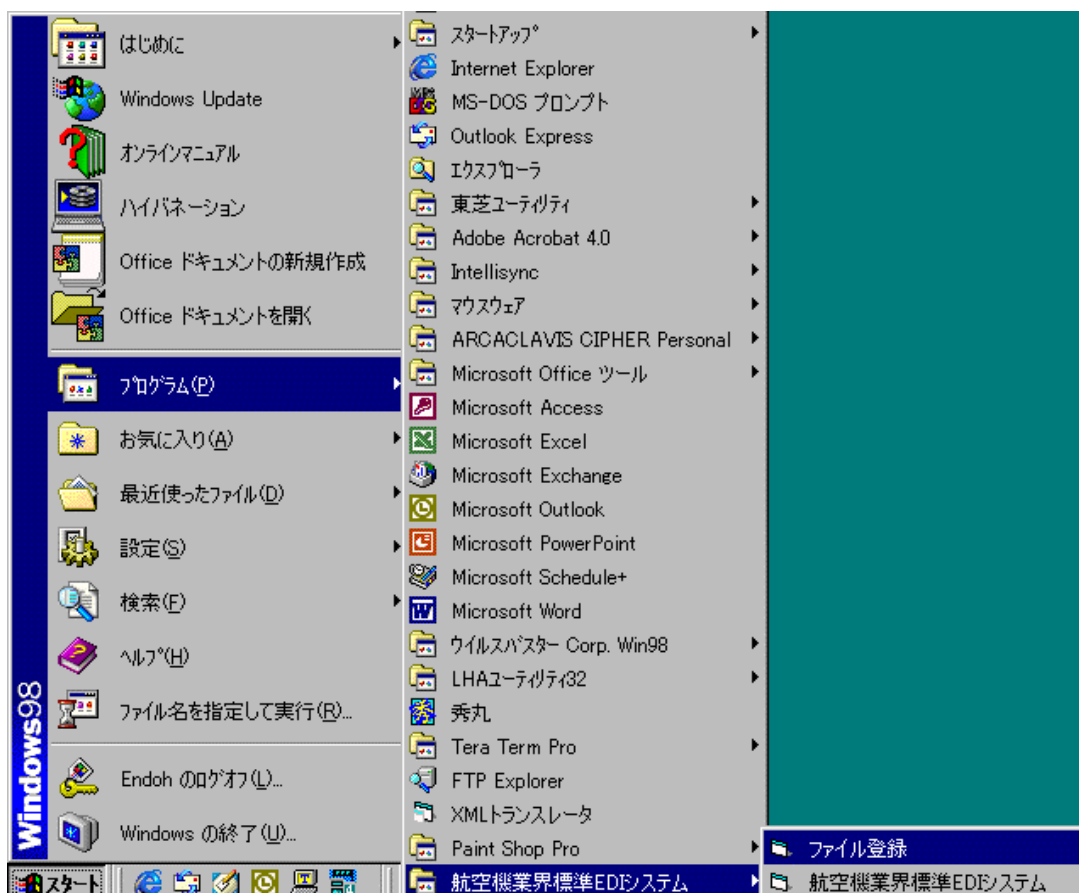
(H) Excel を終了します。



(A) 受注側クライアントプログラムのリソースファイルを登録します。

尚、画面から詳細データを CSV 保管する際に使用されるトランスレータの変換ルールファイルの登録は、本機能を利用して実施します。

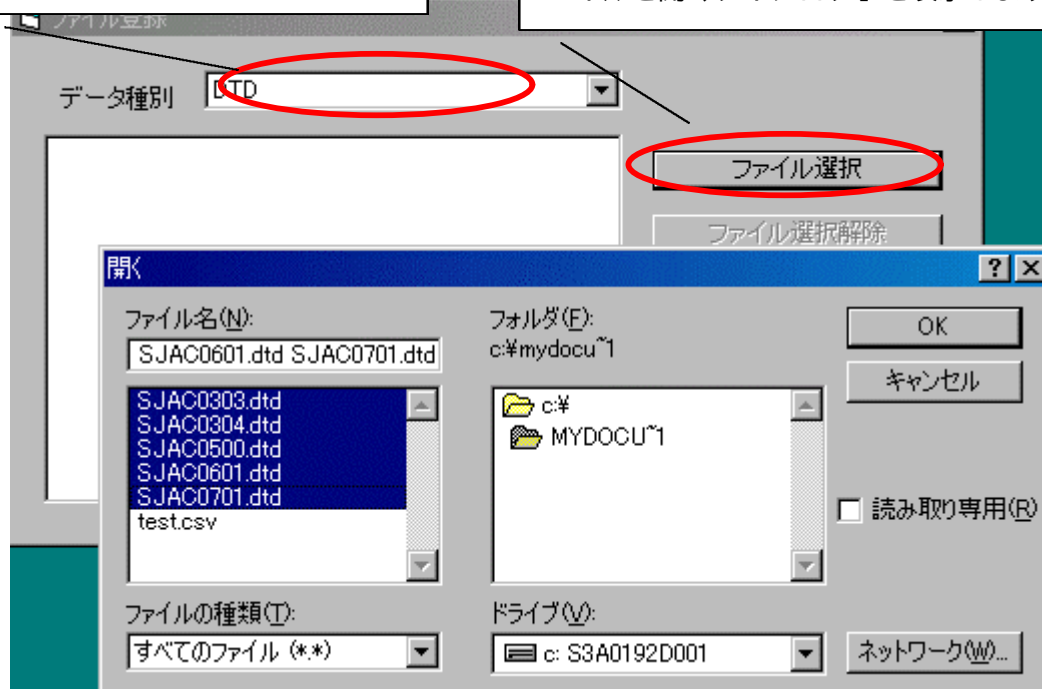
(a) 「スタート」メニューより、「プログラム」 「航空機業界標準 EDI システム」 「ファイル登録」を実行して、「ファイル登録画面」を起動します。



(b) データ種別を選択し、登録するファイルをダイアログから選択します。

登録するファイルの種類を選択します。

[ファイル選択]ボタンをクリックし、「ファイルを開くダイアログ」を表示します。



<補足説明>

受注側クライアントのエラー対処方法で、ファイルの再セットアップを行う場合、この画面から再セットアップを実行します。再セットアップに必要なファイルは、4.3.1 パッケージ内容を確認して、パッケージから取得してください。登録するファイル名は、必ず4.3.1 パッケージ内容に記載されているファイル名と同じにして下さい。

<補足説明>

インストール直後の状態では、下記内容のトランスレータ用変換ルールファイルが登録されています。

<項目変換ルールファイル>

- ・XML 非XML (CSV 形式 / 項目名あり)
- ・全ての情報区分 / 項目の変換ルール

<コード変換ルールファイル>

- ・コード変換なし (そのままのコードで出力される)

上記トランスレータ用変換ルールファイルを、ユーザで任意に作成したトランスレータ用変換ルールファイルに変更したい場合は本機能を利用し登録 (置き換え) を実施して下さい。

データ種別は、どちらも [トランスレータコード変換ルールファイル] です。

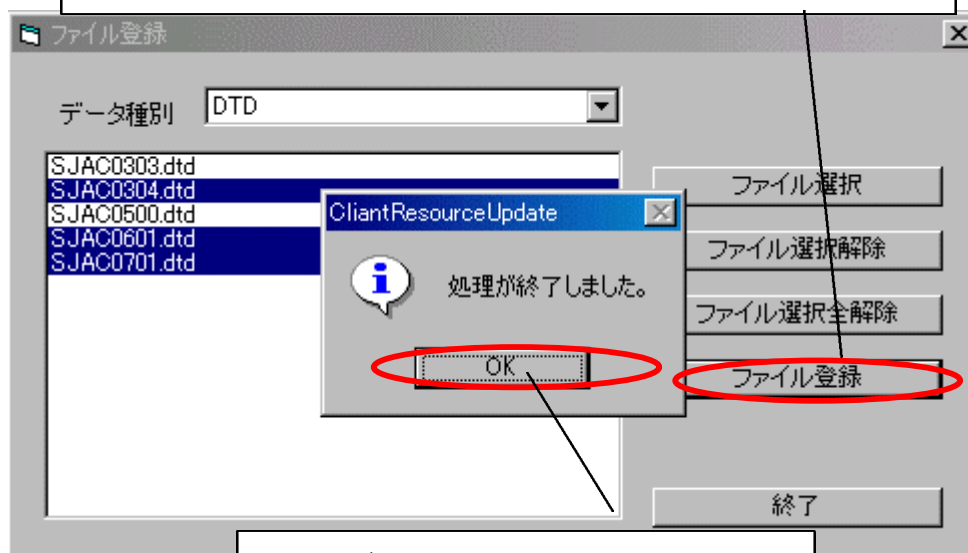
ファイル名は下記に従ってください。

- ・項目変換ルールファイル : xtoc.trl
- ・コード変換ルールファイル : code.crl

ユーザで任意に作成する項目変換ルールファイルは、全ての情報区分に対して変換ルールを登録してください。この条件が満たされない場合、受注側クライアントのファイル出力機能が正常に動作しない場合があります。

(c) 一覧にて選択したファイルを登録します。

一覧に表示されているファイルから登録するファイルを選択し、
[ファイル登録ボタン]をクリックします。



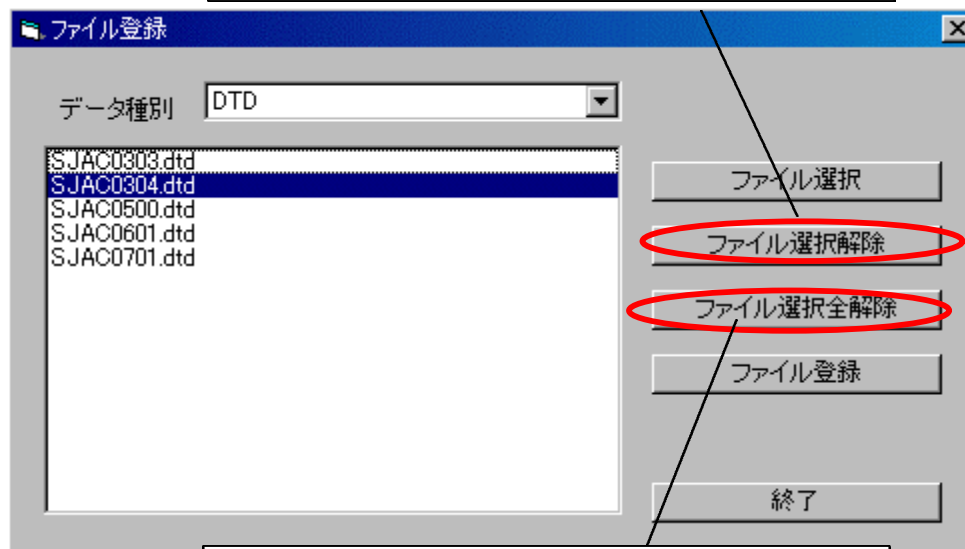
[OK]ボタンをクリックします。

<補足説明>

ファイルの登録先に同名のファイルが存在する場合は、上書き登録となります。

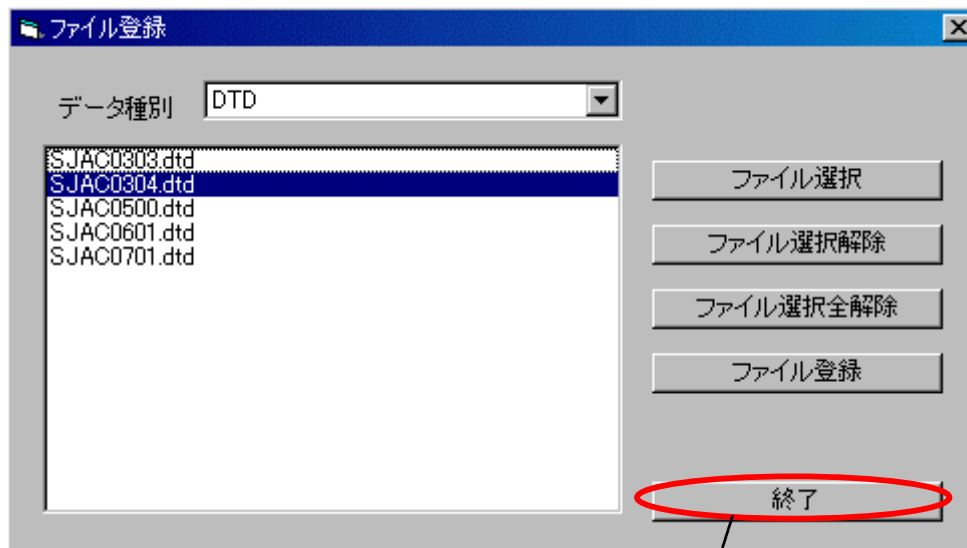
(d) 一覧に表示されているファイルを、一覧から削除します。

一覧で選択されているファイルを一覧から削除します。



一覧に表示されている全ファイルを一覧から削除します。

(e) 「ファイル登録画面」を終了します。



[終了]ボタンをクリックしま
す。

(B) 画面表示用リソースファイルのカスタマイズすることにより、画面名や項目名、ボタン名など、画面上に表示されている名称を変更することができます。以下に、画面名とリソースファイル名の対応を示します。

画面名	画面表示用リソースファイル名
ログイン	CW010.xml
メインメニュー	CW030.xml
見積依頼情報一覧画面	CW040.xml
見積依頼情報詳細画面	CW050.xml
見積回答情報作成画面	CW060.xml
見積回答情報詳細画面	CW061.xml
見積回答諸掛情報画面	CW070.xml
見積依頼情報選択画面	CW080.xml
見積回答詳細入力画面	CW090.xml
見積回答情報一覧画面	CW100.xml
注文情報一覧画面	CW110.xml
注文情報詳細画面	CW120.xml
注文残高情報一覧画面	CW130.xml
注文残高情報詳細画面	CW140.xml
納期確認情報一覧画面	CW150.xml
納期確認情報詳細画面	CW160.xml
納期回答作成画面	CW170.xml
納期回答情報一覧画面	CW180.xml
納期回答詳細入力画面	CW190.xml
納期回答情報詳細画面	CW191.xml
納品書 / 出荷情報作成画面	CW200.xml
納品書 / 出荷情報一覧画面	CW210.xml
納品書 / 出荷情報詳細画面	CW220.xml
入荷情報一覧画面	CW230.xml
入荷情報詳細画面	CW240.xml
検査情報一覧画面	CW250.xml
検査情報詳細画面	CW260.xml
検収情報一覧画面	CW270.xml
検収情報詳細画面	CW280.xml
円貨確定依頼情報一覧画面	CW290.xml
円貨確定依頼情報詳細画面	CW300.xml
円貨確定情報作成画面	CW310.xml
円貨確定詳細入力画面	CW311.xml
円貨確定情報一覧画面	CW320.xml
円貨確定情報詳細画面	CW330.xml
買掛金計上通知情報一覧画面	CW340.xml
通信履歴画面	CW370.xml
通信履歴保存 / 削除画面	CW372.xml
パスワード変更画面	CW400.xml
メーカー情報設定画面	CW410.xml
メニュー表示情報変更画面	CW411.xml
一括処理設定画面	CW412.xml
メーカー情報変更画面	CW413.xml
共通コード表画面	CW490.xml
一括送受信画面	CW500.xml
一括送受信設定画面	CW510.xml
回答詳細情報画面	CW600.xml
ファイル登録画面	clientsetup.xml

(C) リソースファイルのカスタマイズ手順を示します。具体例として、メインメニューの画面名、及び [中止] ボタンの名前を変更します。

(a) メインメニューのリソースファイル (CW030.xml) を開きます。

< 補足説明 >

画面表示用リソースファイルは以下のフォルダに格納されています。

\$ インストールフォルダ¥rcxml

\$インストールフォルダは、受注側クライアントプログラムをインストールしたフォルダを示します。

通常は、 c:¥Program Files¥EDIClient です。

< 注意事項 >

画面表示用リソースファイルは、文字コードが UTF-16 の XML ファイルです。

必ず UTF-16 に対応した XML ファイル編集ツールまたはテキストエディタを使用してください。

< 注意事項 >

カスタマイズを行う前に、必ずバックアップとして、ファイルのコピーを取ってください。カスタマイズに失敗した場合は、(3) 受注側クライアントプログラムのリソースファイルの登録手順に従って復旧して下さい。

(b) 該当箇所を修正してファイルに保存します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-16"?>
<!-- edited with XML Spy v2.5 NT - http://www.xmlspy.com -->
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="rcdisp.xsl" ?>
<cont xmlns:dt="urn:schemas-microsoft-com:datatypes">
  <form>
    <name>frmCW030</name>
    <caption>
      <jp>メインメニュー</jp>
      <us>Main Menu</us>
    </caption>
    <buttons>
      <item>
        <name>cmdReload</name>
        <caption>
          <jp>再読込(&L)</jp>
          <us>Re&load</us>
        </caption>
      </item>
      <item>
        <name>cmdReturn</name>
        <caption>
          <jp>戻る(&R)</jp>
          <us>&Return</us>
        </caption>
      </item>
      <item>
        <name>cmdCancel</name>
        <caption>
          <jp>中止(&S)</jp>
          <us>&Stop</us>
        </caption>
      </item>
    </buttons>
  </form>
</cont>
```

名称を変更します。

名称を変更します。

(c) 修正した画面を表示して、変更内容を確認します。

<注意事項>

ユーザが変更可能な箇所は、以下のように<Cpation>タグの下にある、<jp>タグ及び<us>タグに定義されている表示名のみです。その他のタグに定義されているデータは変更しないで下さい。画面が正しく表示されなくなる可能性があります。

```
<Cpation>
```

```
    <jp>日本語モード表示名</jp>
```

```
    <us>英語モード表示名</us>
```

```
</Cantion>
```

<補足事項>

画面上の項目が多すぎて、画面上の名称とリソースファイルの名称の対応がわかりにくい場合、以下のリソースファイル作成基準を参考にして下さい。

画面名	<form>の直下に定義
メニュー名	<menus>以下に定義
フレーム名	<frames>以下に定義
ラベル名	<labels>以下に定義
チェックボックス	<check>以下に定義
オプションボタン	<opt ions>以下に定義
ボタン	<but tons>以下に定義
表の列名	<tdbgrid>の下の<column>以下に定義

<補足事項>

日本語モード表示名の最後に(&R)のように記述すると、【Alt】+【R】キーによるショートカットを表し、画面上では(R)と表示されます。英語モード表示名では()を使わずに、ショートカット文字の直前に&を記述します。

例

```
<Caption>  
    <jp>戻る(&R)</jp>  
    <us>&Return</us>  
</Caption>
```

<留意事項>

プログラムを再セットアップすると、カスタマイズ情報は全て失われます。再セットアップを実施する場合は、カスタマイズしたリソースファイルのコピーを取っておき、再セットアップ実施後、(3)受注側クライアントプログラムのリソースファイルの登録手順に従ってリソースファイルを再登録してください。

(D) 帳票テンプレートファイルのカスタマイズすることにより、項目の名称を変更することができます。帳票テンプレートファイル名と帳票名については、(2) 帳票テンプレートファイルの確認手順 (A) を参照して下さい。

(a) 帳票テンプレートファイルを開き、該当箇所を変更します。
帳票テンプレートファイルの開き方については、(2) 帳票テンプレート
の確認手順 (A) を参照して下さい。

変更対象のセルを選択し、項目の名称を変更します。

A		B		C		D		E		F		G		H		I		J		K		L		M		N		O		P		Q		R		S		T		U		V		W		X		Y		Z		AA		AB		AC	
Supplier-name-K		Supplier-responsible		取先コード		Vendor-code																																																			
注文番号		注文訂正回数		注文日		部品番号																																																			
Order-number		Order-revise-times		Order-date		Parts-number																																																			
Article-name-K		種類名		Lot-number		S/O発行番号		工程番号		契約番号		契約内分割番号		資材管理区分		治具管理コード																																									
Model-code		Model-name-K																																																							
国産輸入区分		Import-domestic-code																																																							
納入管理番号		出荷日		納入日		心付/伝番号		船番		新船番		返品番号																																													
Delivery-control-number		Send-date		Receive-date		Invoice-number		Ship-number		New-ship-number		Return-number																																													
納入数量		単位		不足数量		単位		通剰数量		単位																																															
Receive-quantity		Unit		Receive-under-quantity		Unit		Receive-over-quantity		Unit																																															
検査日		検査区分		保留判定区分																																																					
Inspection-date		Inspection-code		Judgment-for-reservation-code																																																					
不良数量		単位		検査合格数量		単位		特採数量		単位																																															
Inspection-failed-quantity		Unit		Inspection-succeeded-quantity		Unit		Inspection-succeeded-quantity		Unit																																															
Inspection-report-K		検査記事																																																							
Accept-date		Consumption-tax-code		Tax-code		Payment-code		Unit-price-co																																																	
Accept-quantity		単位		Accept-amount-Y		Consumption-tax-amount-Y		Ground-tota																																																	
通貨コード		Accept-unit-price-F		Accept-amount-F		Ground-total-F		Add-up-year-and-month		Add-up-d																																															
Currency-code		Accept-unit-price-F		Accept-amount-F		Ground-total-F		Add-up-year-and-month		Add-up-d																																															

<注意事項>

実際のデータが出力されるセルには、以下の図のような文字列が記入されています。その文字列を変更または削除した場合、帳票の印刷プレビュー、印刷が正常に動作しません。該当の文字列を変更または削除しないで下さい。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with a template for an invoice. The spreadsheet is titled 'Microsoft Excel - C10-JP1'. The template includes various fields for supplier information, order details, and inspection records. A callout box highlights the cell containing 'Model-name-K' in row 14, column G, with the text: '項目名以外の文字列は削除、変更しないように気を付けて下さい。' (Please be careful not to delete or change text other than the item name.)

Microsoft Excel - C10-JP1												
MSゴシック 12 B I U												
F13 = 機種名												
Supplier-name-K												
責任者: Supplier-responsible 取引先コード Vendor-code												
注文番号 注文訂回数 注文日 Order-number order-revise-times Order-date												
Parts-number												
品名												
Article-name-K												
機種略号 機種名 D-11番号 S/O発行番号 工程番号 契約番号 契約内分割番号 資材管理区分 治具管理コード												
Model-code Model-name-K Lot-number SO-issue-number process-number tract-number tract-divide-code Material-control Tool-control-code												
国産輸入区分 Import-domestic-code												
納入管理番号 出荷日 納入日 倉庫/仮番号 船番 新船番 返品番号												
Delivery-control-number Send-date Receive-date Invoice-number Ship-number New-ship-number Return-number												
納入数量 単位 不足数量 単位 過剰数量 単位												
Receive-quantity Unit Receive-under-quantity Unit Receive-over-quantity Unit												
検査日 検査区分 保留判定区分												
Inspection-date Inspection-code Judgment-for-reservation-code												
不良数量 単位 検査合格数量 単位 特採数量 単位												
Inspection-failed-quantity Unit Inspection-succeeded-quantity Unit Action-succeeded-quantity Unit												
検査記事 Inspection-report-K												
検取日 消費税区分 課税区分 支払区分 単価区分												
Accept-date Consumption-tax-code Tax-code Payment-code Unit-price-code												
検取数量 単位 検取単価(円貨) 検取金額(円貨) 消費税額(円貨) 合計額(円貨)												
Accept-quantity Unit Accept-unit-price-Y Accept-amount-Y Consumption-tax-amount-Y Ground-total												
通貨コード 検取単価(外貨) 検取金額(外貨) 合計額(外貨) 計上年月 計上日												
Currency-code Accept-unit-price-F Accept-amount-F Ground-total-F Add-up-year-and-month Add-up-d												
Template / NUM												

4 . 3 . 2 使用環境設定	(5) 帳票テンプレートファイルのカスタマイズ 手順	3/3
<p>(b) 帳票テンプレートファイルを上書き保存し、Excel を終了します。 帳票テンプレートファイルの上書き保存については、(2) 帳票テンプレートの確認手順 (E) を、Excel の終了については、(2) 帳票テンプレートファイルの確認手順 (F) を参照して下さい。</p>		

4.3.3 社内システムとのインタフェース

ここでは、受注側クライアントプログラムと社内システムとのインタフェースについて説明します。

- ・社内システムとのインタフェースとなるディレクトリ (1)参照
- ・Uploadディレクトリに関する仕様 (2)参照
- ・Downloadディレクトリに関する仕様 (3)参照
- ・エラーファイルディレクトリに関する仕様 (4)参照
- ・Uploadディレクトリに保管されたファイルのチェック仕様..... (5)参照

(1) 社内システムとのインタフェースとなるディレクトリ

社内システムとのインタフェースとなるディレクトリを表 4 . 3 . 3 - 1 に示します。

表 4 . 3 . 3 - 1 社内システムとのインタフェース用ディレクトリ

名称	用途
Upload ディレクトリ 初期値 : 「インストール先」¥Upload	受注側クライアントプログラムが EDI サーバへ送込むデータファイル (回答データファイル) を社内システムが保管する領域。
Download ディレクトリ 初期値 : 「インストール先」¥Download	受注側クライアントプログラムが EDI サーバから取得したデータファイルを保管する領域。 社内システムはこのディレクトリに保管されているデータファイルを取り込む。
エラーファイルディレクトリ 初期値 : 「インストール先」¥ErrorFile	Upload ディレクトリに保管されたデータファイルのうち、受注側クライアントプログラムが実施したチェックに不合格となったデータファイルを格納する領域。

各ディレクトリの初期値について、プログラムインストール時にインストール先を変更しなかった場合、「インストール先」は「C:¥Program Files¥EDIClient」になります。

各ディレクトリは変更可能です。変更方法については、「3 . 4 . 1 (4) 一括送受信設定手順」を参照してください。

(2) Upload ディレクトリに関する仕様

Upload ディレクトリに関する仕様を表 4 . 3 . 3 - 1 に示します。

表 4 . 3 . 3 - 2 Upload ディレクトリに関する仕様

No	仕様	備考
1	受注側社内システムは、名称.tmp でファイル書込みを行い、書込み完了後に名称.xml にリネームする。	書込み中ファイルの排他制御を行うための仕様
2	名称については特に規定しない。	エラーファイルの上書き防止のために、各ファイル名がシステムの稼働期間中ユニークになるようにすることが望ましい。
3	本ディレクトリに保管されているファイルは、受注側クライアントプログラムが EDI サーバへの送信処理終了後に削除を行う。	受注側クライアントプログラムが主導権を持っているため。
4	Upload ディレクトリに保管するファイルの最大サイズは1ファイルあたり 30MB 以内とする。	受注側クライアントプログラムでのレスポンス向上対策による。

(3) Download ディレクトリに関する仕様

Download ディレクトリに関する仕様を表 4 . 3 . 3 - 3 に示します。

表 4 . 3 . 3 - 3 Download ディレクトリに関する仕様

No	仕様	備考
1	受注側クライアントプログラムは、名称.tmp でファイル書込みを行い、書込み完了後に名称.xml にリネームする。	書込み中ファイルの排他制御を行うための仕様 受注側社内システムは拡張子が xml であるファイルを対象に取込み処理を実施すること。
2	名称は以下のルールで設定する。 sessionID-情報区分コード-EDI サーバコード--受注者コード sessionID : EDI サーバが設定するセッション識別子 (yyyymmddhhmmssnnn) nnn は 3 桁の連番 情報区分コード : ファイルに含まれるデータの情報区分コード 4 桁 EDI サーバコード : データ取得元 EDI サーバの統一企業コード 12 桁 受注者コード : 受注者の統一企業コード 12 桁	EDI サーバから取得するデータは、100 メッセージ毎に 1 ファイルに結合されます。 つまり、1 ファイルには最大 100JPTRM タグが存在することになります。 これは、受注側クライアントプログラムでのレスポンス向上対策によります。
3	受注側社内システムがファイル削除を実施する。	受注側社内システムが主導権を持っているため。

(4) エラーファイルディレクトリに関する仕様

エラーファイルディレクトリに関する仕様を表4.3.3-4に示します。

表4.3.3-4 エラーファイルディレクトリに関する仕様

No	仕様	備考
1	受注側クライアントプログラムは、Upload ディレクトリに保管されているデータファイルのうち、チェック NG のファイルをエラーファイルディレクトリに移動する。	受注側社内システムがチェック NG ファイルの原因調査を行うため。
2	エラーファイルディレクトリへのファイルの移動にあたっては、名称.tmp でファイル書込みを行い、書込み完了後に名称.xml にリネームし、Upload ディレクトリより該当ファイルを削除する。	書込み中ファイルの排他制御を行うための仕様
3	ファイルの移動にあたっては、移動元ファイルのファイル名を維持する。	同名ファイルがエラーファイルディレクトリに存在する場合は上書きする。
4	受注側社内システムがファイル削除を実施する。	受注側社内システムが主導権を持っているため。

(5) Upload ディレクトリに保管されたファイルのチェック仕様

Upload ディレクトリに保管された EDI サーバへ送込むデータファイルのチェック仕様について表 4 . 3 . 3 - 5 に示します。

表 4 . 3 . 3 - 5 ファイルのチェック仕様

No	チェック仕様	備考
1	DOCTYPE 宣言の存在チェック	XML 妥当性検証に DOCTYPE 宣言は不可欠
2	XML 妥当性検証	
3	MGH の存在チェック	MGH に設定されている内容に従い、データ送信先の EDI サーバの特定、クライアント認証キーの特定を行うため MGH の存在は必須。
4	MGH の JPC06 ノード (発信者コード) にセットされた受注者コードと、メッセージに含まれる Supplier-code ノードにセットされている受注者コードが一致しているかどうか？	

チェック NG のデータが存在する場合、チェック NG となった原因を記述したメールが送付されます。

エラーの内容と対策については、3 . 4 . 1 (7) エラー時の対処方法を参照してください。